

第222回 番組審議会

1. 日 時 平成25年5月14日(火) 12:00～
2. 場 所 メトロポリタン盛岡NEW WING 3F「星雲 東の間」
3. 委 員 委員総数 11名
出席委員数 11名(欠席委員数 0名)

○出席委員(敬称略)

中村 慶久(委員長)

竹中 陽一(副委員長)

—以下50音順—

木戸場美代子

久慈 浩介

斎藤 純

斎藤 雅博

菅原 正二

原 圭介

八木橋 伸之

役重 真喜子

吉田 浩次

○会社側出席者(5名)

佐藤 滋樹(代表取締役社長)

小原 忍(専務取締役)

藤澤 利憲(常務取締役)

前田 秀男(取締役編成技術局長)

藤原 銀司(取締役営業局長)

○事務局 佐々木 久仁子

4、講演 『フジテレビ2013年4月春の番組改編について』

(株)フジテレビジョン編成制作局

編成担当局長兼編成センター室長 山口 真 様

5. 議 事 概 要

今回はキー局フジテレビの山口真・編成制作編成担当局長兼編成センター室長から「フジテレビ2013年4月春の番組改編について」と題して講演を頂きました。議事の概要は以下の通りです。

●フジテレビ編成制作編成担当局長兼編成センター室長山口真様のお話

- ・フジテレビの編成とは、番組表を作る作業をしている部署であり、番組表を通じて視聴者の役に立つとともに、的確な情報を届けることで報道機関としての義務を果たすことが役割である。
- ・フジテレビ4月番組改編は、更に番組を活性化させ強いタイムテーブルを作るべく「MOVE! もっとフジテレビ」をキャッチフレーズに行った。
- ・HUT（視聴世帯数）が低下傾向にある。インターネット、ハードディスク内臓録画再生機が普及しメディア環境は急速に変化した。視聴者は自らの可処分時間に合わせて録画・再生で番組を見る傾向が強まった。
- ・テレビを見ている半分以上が50歳以上という視聴者層の変化に伴い、受け入れられる番組も変化してくるだろう。

●出席委員からの意見・感想

- ・テレビ局の現状が理解できた。
- ・メディア環境が大きく変化する中で、テレビ局がどうあるべきかが重要なテーマであると

感じた。

6. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置

特になし

7. 審議機関の答申意見概要を公表した場合におけるその公表内容、方法及び年月日

※平成25年5月15日（水） 産経新聞 東北版

※平成25年5月25日（土） 午前4時42分から4時45分まで「めんこいテレビ番
審りレポート」内で放送

※据え置き書類を作成し、本社受付に置き一般の人々が自由に閲覧できるようにした

8. その他の参考事項

特になし